

2009年8月1日（土）
大阪薬業年金会館 301号室

米山奨学委員会
委員長

村橋 義晃

(大阪中之島RC)

参加者 ガバナー 大谷 透
ガバナー・ノミニー 岡部 泰鑑
米山奨学委員長 村橋 義晃
米山奨学副委員長 磯田 郁子

米山担当パストガバナー 若林 紀男
IM第6組ガバナー補佐 重里 國麿
各地区研修委員
各クラブ米山奨学委員 カウンセラー
参加者 97名

2009年度米山奨学委員長会議およびカウンセラー研修会は8月1日10時から、大阪薬業年金会館で97名の出席を頂き開催しました。中川地区委員の進行で、磯田副委員長の来賓紹介、資料確認から始まりました。始めに「将来、日本と世界を結ぶ懸け橋となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成すること。これはロータリーの目指す世界平和と国際理解そのものです。米山奨学事業の使命です」と、大谷ガバナーのご挨拶から始まりました。

次に米山奨学の今後の展望と題し、奨学生の選考基準、米山梅吉氏の生い立ち、そして米山奨学の誕生の過程などを講演されました。

続いて委員長から第2660地区米山奨学委員会活動方針についての報告があり、米山奨学の目的・原点を説明され自発的な寄付のお願いを熱望されました。

続いて、磯田副委員長の説明による、心つないで世界へ、ロータリー米山記念奨学の学友たちと題したDVDを鑑賞し、米山奨学事業の重要性と

学友たちが母国に帰国後、今度は学友が日本に恩返しする番であると語られているのを観て、皆、感動しました。そして磯田副委員長の説明後、A～Hの各テーブルに分かれ【奨学生の世話で困ったこと】【ロータリアンの米山奨学事業の理解を深め、寄付金を増やすにはどうすれば良いか】【奨学生にふさわしい人物とはどんな留学生か?】の三つのテーマで討論会をしました。

少し短い時間でしたが、熱心に議論されテーブルリーダーからまとめて発表して頂きました。発表後は若林パストガバナーから「今、グループリーダーが発表して頂いた通りである」と講評を頂きました。

最後に委員長より、本日の委員長会議とカウンセラー研修会は非常に有意義な委員会であった、各々が正確な情報を各クラブに持ち帰り報告して頂き、より一層米山奨学についてご理解頂き、一人20,000円の寄付目標額を達成して頂ける様にとのお願いがあり閉会しました。

